

パプロ・クリエーションは
ネクタイの16、17年秋冬物
で、無地系やレジメンタルス
トライブなど剣先が8センチ幅の
タイプを充実させる。そし
て、それらを効果的に売るた
めにもデザインをきかせたも
のや、7センチ幅のウールのニッ
トタイの提案にも注力する。

秋冬は「売れ筋の振り幅が
けっこう大きい」ととらえて
おり、引き続きニットタイの
流れがある一方で、ベーシッ
クなコーディネートに組み合
わせる8センチ幅の無地や
ジャカード
の商品群の

ネービー主力に

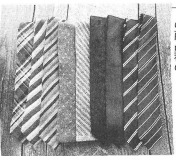
8センチ幅を充実

パプロ・クリエーション

引き合いが増えている。8センチ幅はネービーを主力色で仕掛けるとともに、ワインやグレイ、サックスブルーと色展開も増やす。無地の朱子織りだけでなく、同一色でもバスケット織りなどの表面変化に富んだ企画を複数用意する。レジメンタルストライプも期待商品だ。3900円中心で、2900円もある。例年よりも反応が良いことから、パリエーションだけでなく、それぞれの生産本数に奥行きも持たせる。

ベーシックな商品をしつかりと売り込んでいく意味でも、シーズンらしさを取り入れた。見せる。企画も並行して盛り込む。4色を盛り込んだレジメンタルストライプ、シルク・ウールの千鳥格子柄、ネルシャツで使われるネルチェックをパイアスで活用したものなどがある。中心価格は4900円。

ニットタイはウールのジャカードで、ストライプなどの柄を表現したものが中心だ。イタリア製で4900円。



ネービーのパリエーションが期待商品。シーズンらしいデザインやニットタイも欠かさない

パリはソフトで小さな襟で軽いコットン素材のシャツに6センチ幅のネクタイが売れ筋。東京は襟型がセミワイドで綿の形態安定加工、A体のシャツに、日本の伝統色やエンジのネクタイが売れている。上海ではブルー系や麻素材のシャツが人気だ。

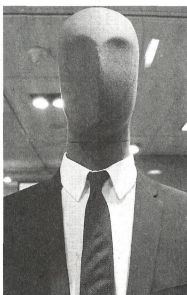
パリ プランタン

さわやかな色、少しファンタジーなもの

プランタンの自社ブランド「ブルネル」は、「普回し」の利く「コレクション」を求める30〜60歳の幅広い客層をターゲットに、エレガントでモダンなスタイルを提案する。シャツは、スリムカットのセミイタリアンとフレンチのソフトで小さな襟、イタリア製の軽いコットンが断トツの人気(85%)。ポプリのダブルカフス、スーツにもチノにも合わせられるシャンブレイ、ブルーやトマトカラーの小さな幾何学プリントも売れ

世界3都市のドレスシャツ&ネクタイ

プランタンのソフトで小さな襟のシャツと6センチ幅のネクタイ



ている。イタリア製のシルクのネクタイはシャツに合わせ、今シーズンから全て6センチ幅(55%)に統一した。地味な無地、マリナーから徐々に深い色へとトーンを豊富に揃えた細かい模様入りのブルーが好評だ。

ベストセラーのニットタイも変わらぬ人気。自社ブランド責任者のミューエル・オペル氏は、「この夏はさわやかな色、少しファンタジーなもの」と傾向を指摘。「ワンパターンな装いから、自分

のライフスタイルに合った価値ある服を求める傾向にある」と消費の変化を分析した。

東京 西武池袋本店

A体シャツ増え、エンジのタイも人気

西武池袋本店ではドレスシャツの襟型でセミワイドが伸び、スナップダウンとホリゾンタルカラー(カッタウェイ)も売れている。一方、ポタンダウンは減少している。素材では綿の形態安定加工が

西武池袋本店の夏物提案



よく、ポリエステル綿混は苦戦している。体形ではA体が増え、全体の60%に。小売価格のボリュームゾーンは7000〜8000円と1万3000円の2山ある。7000円以下の山は、1

8000円のゾーンの売れ筋は「リミテッドエディション(L E)」「ロードソン」「bgr」や「LE・バイ・アングラー」(7900円)・アゼック素材を使った「LE」(5900円、生産はフレックスジャパン)も売れている。1

上海 上海久光百貨

麻が台頭

ブルー系も動く

上海久光百貨では相変わらず細番手の天然繊維(綿100%・80番手双糸、100番手双糸)クラスの形態安定加工シャツが主力。売れ筋は従来の柄物(チェック、ストライプ)より、今シーズンは無地系の動きが非常に良い。色柄は淡いブルーで、ショート・レギュラーやショート・ボ



上海久光百貨のブルー・ドビーのシャツ(フレックス)

タンダウンの襟型が主体だ。30〜45歳の販売客層に共通している点は、①着心地の見た目の格好良さを兼ね備えた商品を選ぶ傾向にある。着心地は素材の良さ見た目の格好良さはボタンやボタンホールなど、ちょっとした変化のある商品。小売価格帯は6500円前後。春夏物商戦本番に向けてブルーシリーズの商品をマンスリーで展開して取扱を図っている。

シーズンを問わず、ブルー系の動きが良いため、ドビーを中心に今シーズンは色で訴求する。昨年と変わった点は麻の台頭。昨年に比べ麻100%や麻・綿混のアイテムが多く目立つ。上海フレックスも分母は小さいながらも、麻・綿関係の商品の動きは明らかに昨年より良い。シワが気になる、ケアの問題で敬遠されていたが、今シーズンは麻の持つ清涼感や感性的な部分を求める消費者が増えてきている。